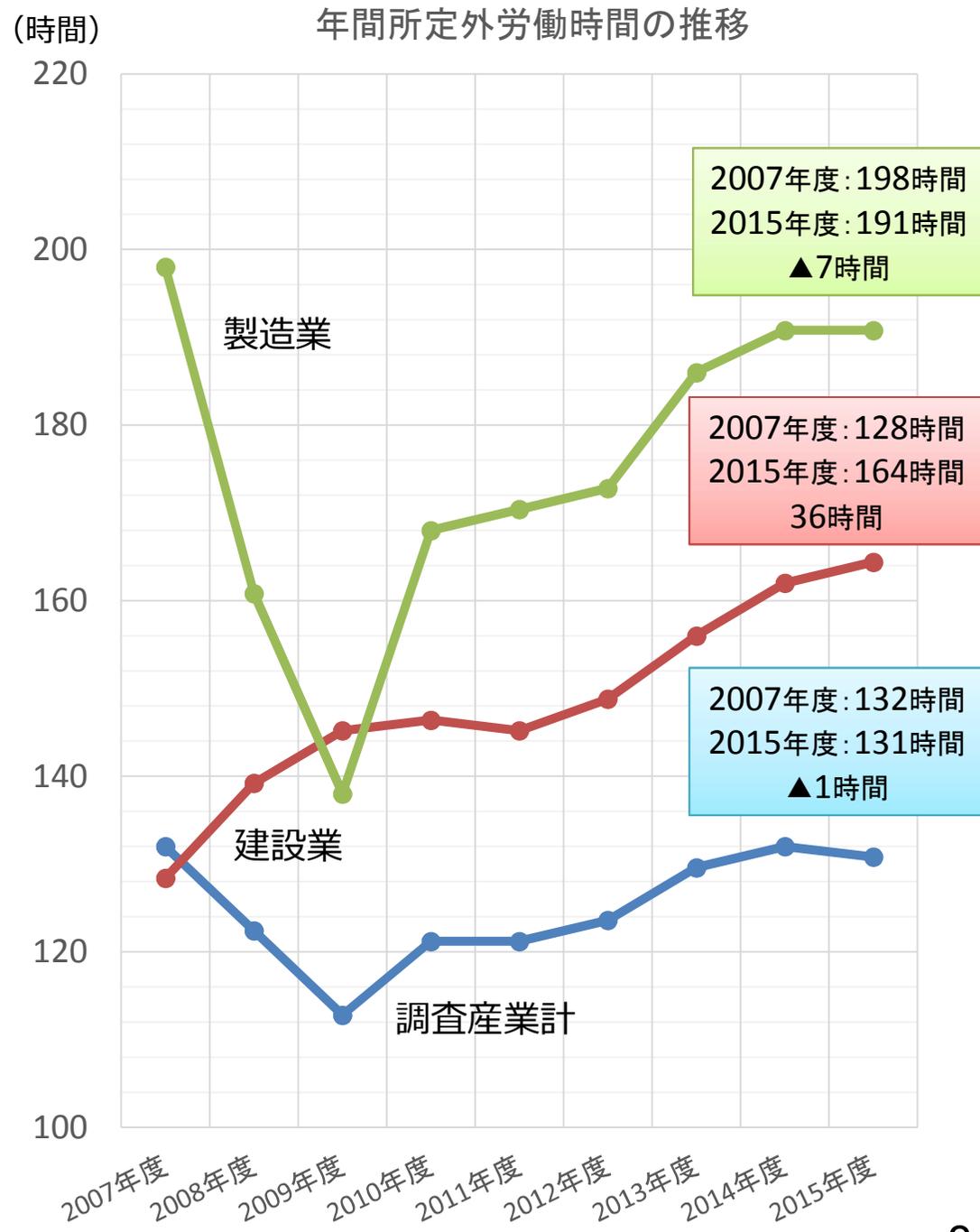
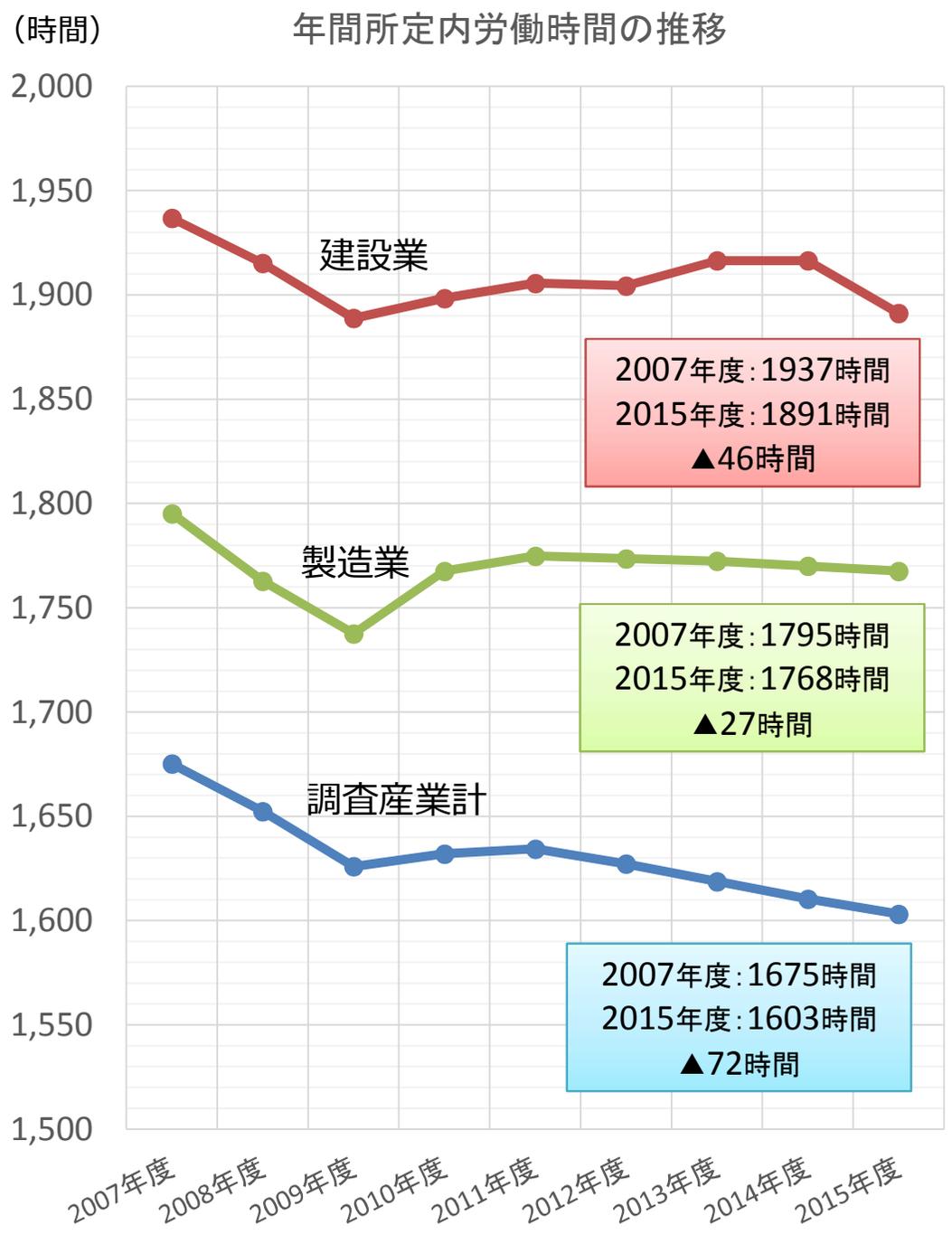


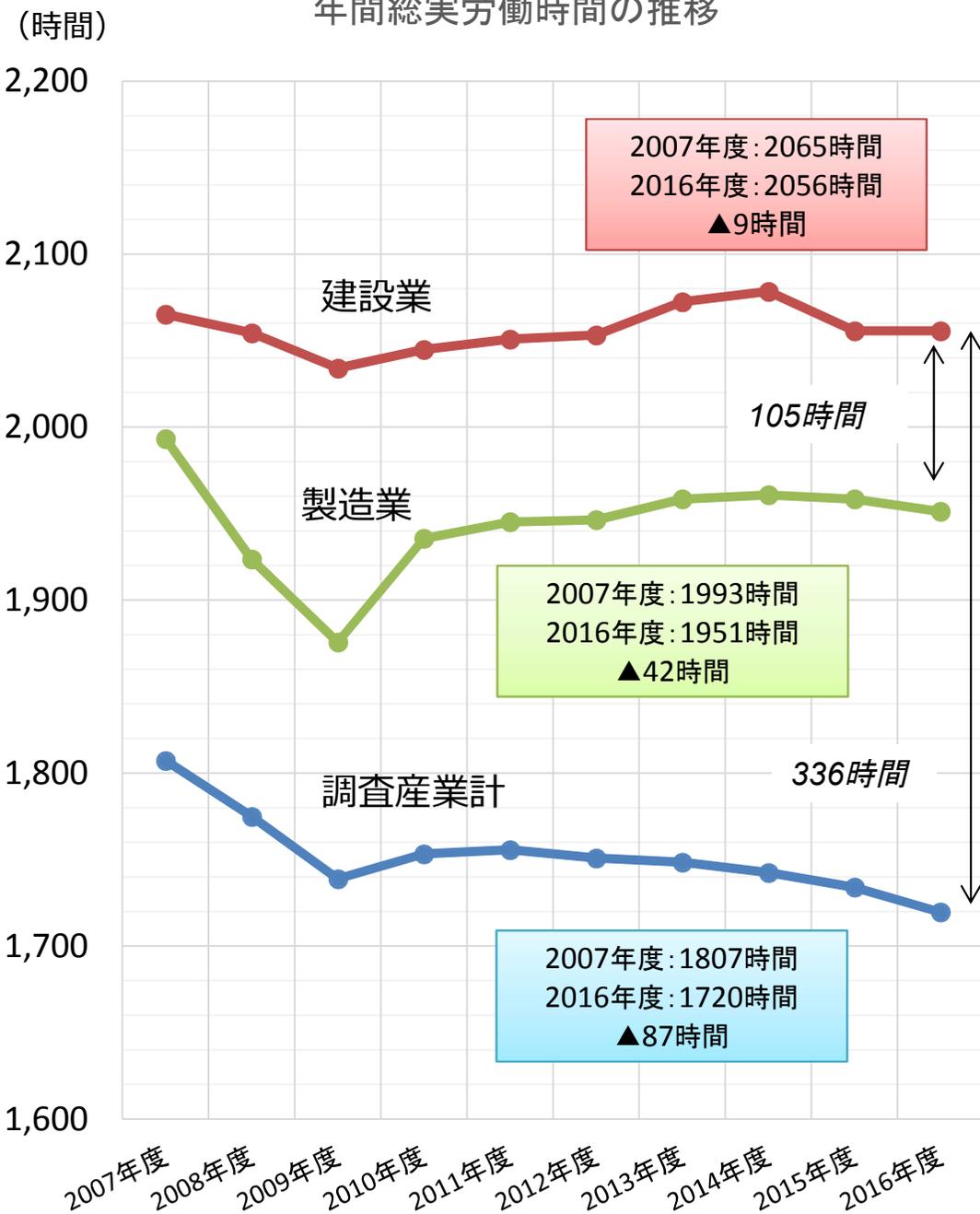
所定内労働時間及び所定外労働時間の推移（建設業と他産業の比較）



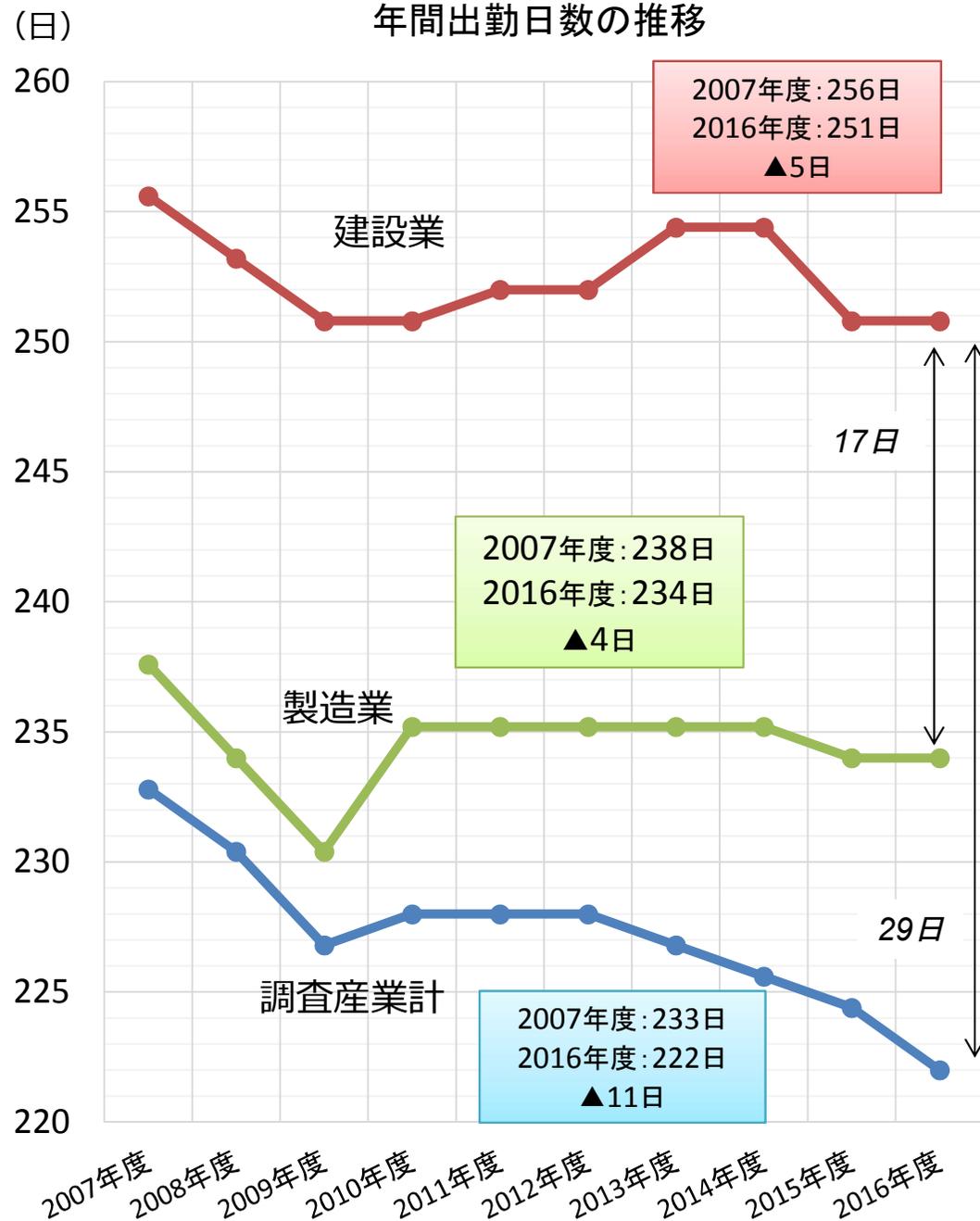
※ 厚生労働省「毎月勤労統計調査」年度報より国土交通省作成

実労働時間及び出勤日数の推移（建設業と他産業の比較）

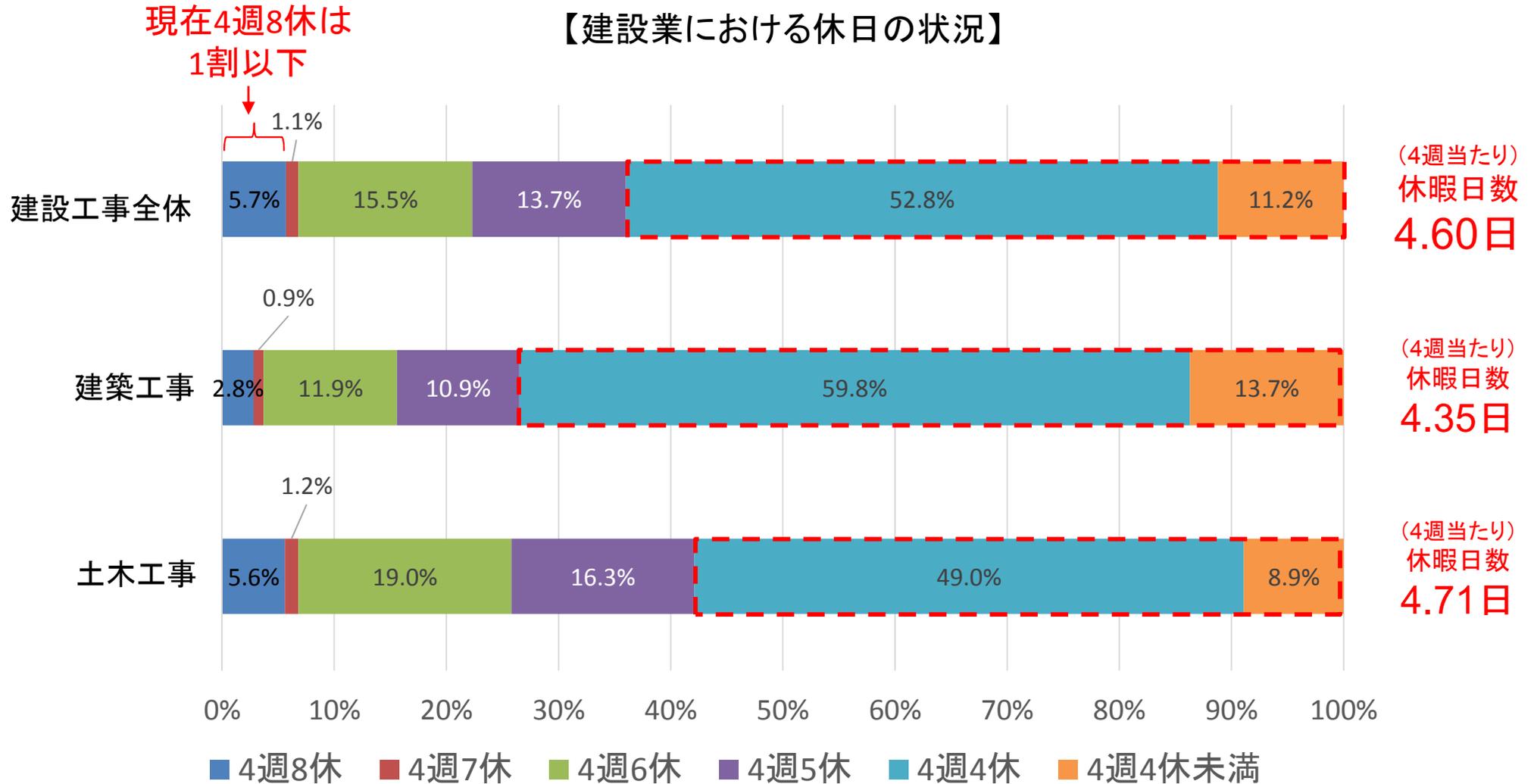
年間総実労働時間の推移



年間出勤日数の推移



○ 建設工事全体では、約65%が4週4休以下で就業している状況。

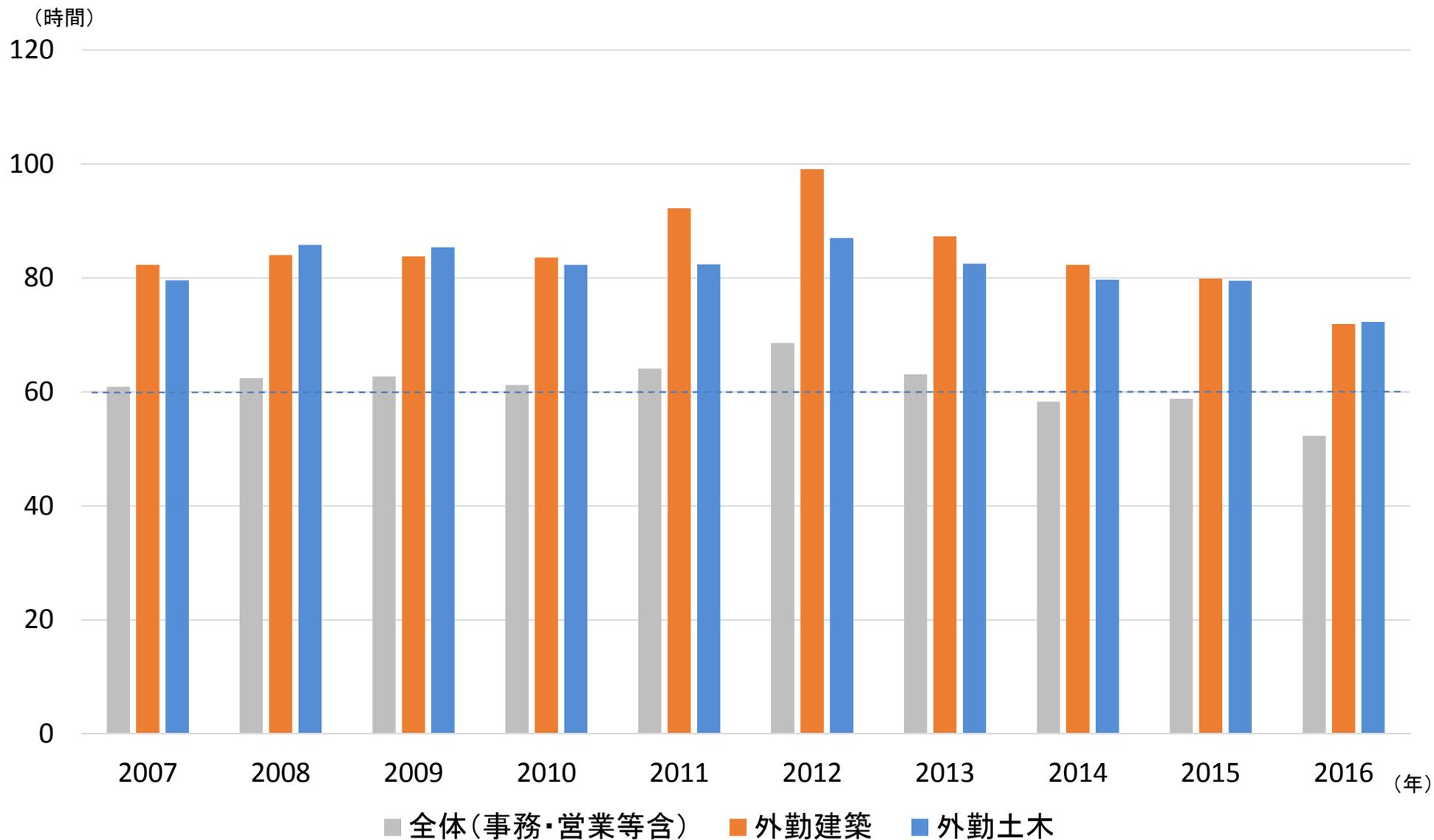


※建設工事全体には、建築工事、土木工事の他にリニューアル工事等が含まれる。

出典：日建協「2015時短アンケート」を基に作成

技術者の残業時間の推移

- 技術者の残業時間は減少傾向。
- しかし、依然として外勤の技術者については、月60時間を上回っている状況。

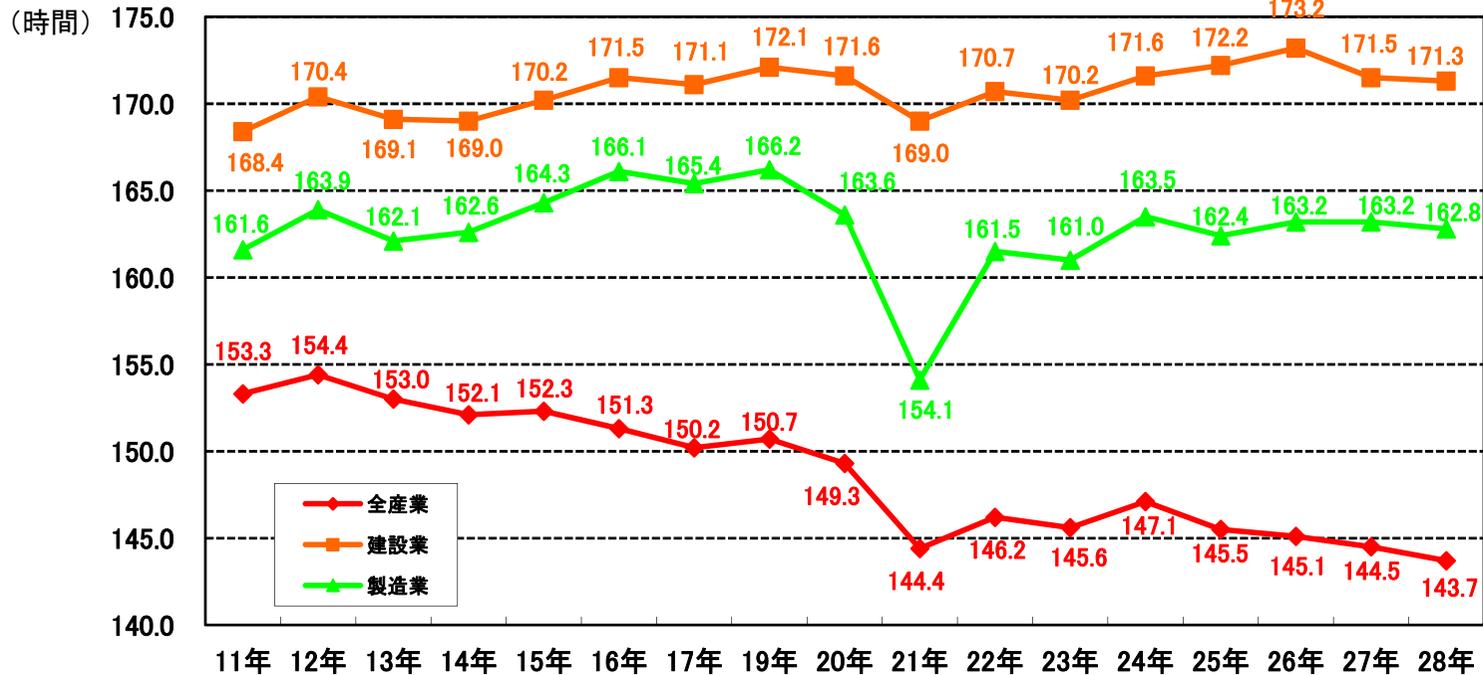


建設業労働者の労働時間の推移

建設業における労働時間はほぼ横ばいで推移しているが、全産業や製造業に比べて長く、平成28年の年間総実労働時間は、2,056時間。

完全週休2日制の普及状況は、28年では企業数で全産業では約49%に対し、建設業では約27%。

■ 常用労働者の月平均総実労働時間の推移



■ 常用労働者の年間総実労働時間(28年)

区分	年間総実労働時間
全産業	1,724 時間
建設業	2,056
製造業	1,954

資料: 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

注: 事業所規模5人以上を対象

年間総実労働時間

= 月平均総実労働時間 × 12か月

■ 完全週休2日制の普及状況(28年)

(単位: %)

事項 \ 区分	週休2日	
	週休2日	完全週休2日
全産業(※1)	88.6	49.0
建設業(※1)	83.7	27.4
製造業(※1)	90.6	49.3
(参考)建設業(※2)	24.5	8.9

資料: ※1 厚生労働省「就労条件総合調査」
(注: 企業規模30人以上)

※2 厚生労働省職業安定局雇用開発部
建設・港湾対策室調べ
(注: 企業規模6人以上)